

少しずつ春の暖かさが感じられる季節になりました。3月は卒業や異動など、それぞれの新たなスタートに向けた準備が進む時期でもあります。皆さまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか。平素より、南丹圏域地域リハビリテーション支援センターの活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。今年度も、多くの皆さまに支えていただきながら活動を進めることができましたこと、心より感謝申し上げます。当センターでは、地域リハビリテーションのさらなる充実を目指し、関係機関・関係職種の皆さまへの支援を継続するとともに、連携体制の強化に努めてまいります。新年度におきましても、地域の皆さまが安心してお過ごしいただけるよう、引き続き取り組んでまいります。今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

『発達支援』 勉強会 & 意見交換会



2026年2月19日、「コミュニケーションの『なぜ難しい?』に気づくために - 発達特性のある方への対応を学ぶ -」と題し、勉強会および意見交換会を開催しました。患者さんや利用者さん、ご家族とのコミュニケーションにおいては、“発達特性”による困難さが影響している場合があります。こうした課題への理解を深めることを目的に、京丹波町で発達支援に携わる作業療法士の石原氏を話題提供者としてお迎えし、発達特性の基礎的な理解や日常場面での気づきのポイントについてお話しいただきました。当日は30名を超える多くの方々にご参加いただき、関心の高さがうかがえました。

後半はグループワークを行い、“コミュニケーションの困りごと”を共有しながら、支援者としての工夫を検討しました。限られた時間の中で十分に話し合いきれなかった面もありましたが、日々の実践を振り返る貴重な機会となりました。今後は、より深く検討し合える時間を設けていきたいと考えています。今回の勉強会は基礎的理解を目的としたものであり、次年度の事例検討会を通じて、さらに実践的な学びへとつなげていく予定です。



『障害の有無や種別にとらわれず、すべての人が地域で安心して暮らせることを目指して』

引き続き、多くの関係者の皆さまにご参加いただければ幸いです。

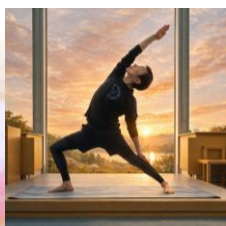


2026年度
事業予定



- ・事例検討会（年2回）
「難病に対するリハビリテーション」
「発達支援の考えかた」
- ・看護職・介護職リハビリテーションステップアップ研修（年3回）
「運動療法の基礎とリスク管理」
「動作介助法」
「摂食嚥下・食事療法」

*詳細につきましては、追ってご案内いたします。皆さまのご参加をお待ちしております。



〈今日のヨガポーズ & 編集者から〉

【戦いをやめた戦士のポーズ Viparita Virabhadrasana】

片脚を前に曲げ、後ろ脚を伸ばして立ちます。前に出した手のひらを返し、上体を大きく後ろへと反らせていきます。反対側の手は太もも、またはふくらはぎに添え、視線は無理のない範囲で上へ向けます。呼吸を止めず、胸の広がりや体側の伸びを心地よく感じながら行ってください。

「をりふし」春号をお読みいただき、ありがとうございました。季節の移ろいのなかで、日々の緊張を少しずつほぐし、心と体を穏やかに整えるひとときをお過ごしいただけましたら幸いです。そして、世界が良い方向に向かっていきますように。

【編集・発行】

京都中部総合医療センター リハビリテーション科内 南丹圏域地域リハビリテーション支援センター

TEL: 0771-42-2510 (代) FAX: 0771-42-2528

Email: rehashien@kyoto-chubumedc.or.jp 担当: 谷本